

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	前原市立前原南小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	2	20	28
児童数	96	90	92	97	107	89	5	571	

研究の概要

1. 研究主題

仮説を創り出す子どもが育つ学習の創造 ～めあてづくりを重視した学習指導の工夫を通して～
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

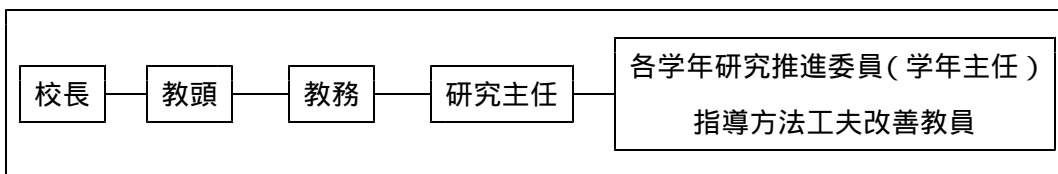
実施学年：全学年 教科：算数科・理科 問題解決的な学び方を身につけるために適した教科であるため
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>仮説を創り出す子どもが育つ学習の創造 ～めあてづくりを重視した学習指導の工夫を通して～</p> <p>研究の見通し 算数科学習指導と理科学習指導において、次のような工夫を行えば、仮説を創り出す子どもが育つであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自らが「めあて」をつくりだすような学習活動の工夫 ・「めあて」の類型化や単元構想の工夫 ・指導法の工夫が教育課程に反映する為の、学年指導組織中心の研究推進 ・朝タイムの工夫 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらべる活動の効果的設定 ・学習内容に応じた柔軟な「めあて」の設定 ・学年指導組織による、学年の子どもの実態に応じた研究推進 ・適時性を考慮した朝自習の工夫
--------	---

平成16年度	<p>仮説を創り出す子どもが育つ学習の創造 ～めあてづくりを重視した学習指導の工夫を通して～</p> <p>研究の見通し 算数科・理科を中心とした教育課程において、次のような工夫を行えば、仮説を創り出す子どもが育つであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法の工夫が教育課程に反映するための、学年指導組織中心の研究推進のさらなる工夫 ・子ども自らが「めあて」をつくりだすような学習活動の工夫 ・朝タイムの工夫 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年指導組織による、学年の児童の実態に応じた研究推進のシステム化 ・算数科、理科で培った学び方が他教科・他領域へ波及するための校内研究会や学年研修会の在り方のさらなる究明 (教科等の関連化による仮説化能力の強化、類比的な学びの強化など) ・くらべる活動の効果的設定 ・学習内容に応じた柔軟な「めあて」の設定 ・適時性を考慮した朝自習の工夫
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

教師の観察による児童の学力向上(CRT学力検査は3月に実施予定)		
(算数科)	4月	12月
内容仮説・方法仮説がともなつためあてをつくる子ども	28.6%	90.5%
自分の方法仮説に基づいて追究を行う子ども	37.9%	90.5%
自分の仮説の妥当性を論理的にまとめる子ども	34.0%	68.8%
追究の発展として新しい「めあて」を求める子ども	25.8%	65.4%
(理科)	4月	12月
内容仮説・方法仮説がともなつためあてをつくる子ども	34.7%	81.5%
自分の方法仮説に基づいて追究を行う子ども	44.1%	84.3%
自分の仮説の妥当性を論理的にまとめる子ども	31.4%	71.6%
追究の発展として新しい「めあて」を求める子ども	30.7%	75.3%

2. 今後の課題

- ・学年指導組織による、学年の児童の実態に応じた研究推進のシステム化
- ・算数科、理科で培った学び方が他教科・他領域へ波及するための校内研究会や学年研修会の在り方のさらなる究明(教科等の関連化による仮説化能力の強化、類比的な学びの強化など)

学力等把握のための学校としての取組

- (内部評価) ・校内研究で開発した算数科・理科単元における児童の変化、及び CRT学力検査の変化
- ・他教科・領域における重点目標の達成状況
- (外部評価) ・保護者参観における保護者の印象による評価
- ・授業公開日における指導主事、研究主任等による評価

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・第1回授業公開 7月3日(火) ・第2回授業公開 9月22日(火)
- ・第一年次実践交流会 2月6日(金)
- ・研究成果普及のためのHP作成
- ・学年経営構想、学年研修計画、重点カリキュラム、研究通信等、結果だけでなく研究の過程やシステムを記載した研究紀要の作成・配付

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無